

48 綿の残留歪について

日本女子大学 竹中はる子

いわゆる“綿の腰”は単純な物理的性質で表現出来るかどうかわからぬが、荷重をかけて歪を生じその歪の残留の大小、歪の回復の速度等が少くとも、かなりの役目をにになっていると考えられる。そこで種々の綿について残留歪や回復速度について実験した。

その結果、雨天（湿った日）に打上たものは乾燥した日に打上たものより残留歪が大きいし、打直した綿も又残留歪が大きい。綿の打方による異い、即ちカード製と前切製では前者の方が残留歪が大きい。

又荷重の大きさと残留歪との関係をしらべた結果は直線関係ではない。